

収入一ヶ月分以下を隨意に無利子にて貸與し一ヶ年以内毎月二回宛均等償還の方法により返還せしむることとする等親意職工の待遇に同意した。

如斯空前の大紛擾を惹起したる本争議の結果は労資双方共幾多の教訓と反省を與へられしことは想像に難くない。

争議に直間したる左浜松諸工場に於ては自発的^的待遇改善を實行するあり。

或は争議の波及を恐れて工場閉鎖に思を廻らせる者すらあつた。

是等諸工場が今後対組合策として如何なる手段を講ずるやは價値多き研究問題である。

組合側の情勢如何、評議會は日本争議の結果全く地盤を喪失し浜松合労協組合は四分五裂の悲運に陥る。如何にして旧勢力の挽回を計るや、目下は無産者青年同盟の名の下に前線的活躍を計画せしめ聞くに如何なる結果を將来するやは事来来の問題に属し今儼かに豫断を許されぬ。(以上)

◎備考 予審會調査の内容

市長印製封子、爆弾投下其の他にて起訴せられたる被告中七十六名は予審の結果静岡地方裁判所浜松支部の公判に付せられた(十月二十八日送達)

被告

▲評議會員東京府下南葛飾郡寺島町、南吉吉(三四)元県警職工藤原肇一、(四五)外三十四名に係る騒擾罪

▲関西評議會員長尾満(三三)元県警職工谷野弁(三三)外三十六名に係る騒擾及放火予備罪、

▲浜松市元魚町元県警職工山田泰(十九假名)に係る騒擾及放火罪、

▲神戸市三川町評議會員西本二(三五)浜松市山下町県警職工岡島千利(三三)浜松市中沢町岡平野徳重(三八)の三名に係る騒擾放火予備放火教唆、爆弾物取締法罰則違反

四方を燃やした

マイトが被害ある旨を起望せられ洲崎鉦山坑夫相島庄吉がダイナマイト一箱を、一交餘もちらみ受け七月十五日午後十一時頃天林寺附近で、ダイナマイト及公道火線十尺を添へて岡村に其へたり、被告岡島千利は岡村慶次郎と争議解決促進のため小竹重役即ちダイナマイトを破壊せし共謀し、月十五日午後十時頃専賣局附近で岡村慶次郎より西本二にダイナマイト雷管導火線を交付し小竹方も爆弾手と云ふことを命じ西本は十六日午前二時頃高町小竹重役即前に至り爆発